▶農機事業

農業生産に必要不可欠な農機の安定供給とご購入後のアフターケア支援で営農を支えます。

◇農機事業の概要

ＪＡ全農ひろしまは県内のＪＡの農機センター及び㈱全農アグリサポート広島の効率的な事業体制やシステムの統一化などを図り、農業組合員の皆さまへ充実したサービスを行い、営農活動をきめ細かくサポートしています。

また、機械の故障やトラブルに対して、迅速に対応を行うために、修理に必要な部品の物流拠点を三次市に設置しており、ＪＡ農機センターからの問い合わせや受発注と配送業務を行っています。

◇共同購入農業機械の取り組み

全国各地の農家組合員に対して必要な農機のスペックや機能、価格等についてアンケートを行い、国内農機メーカー4社（三菱マヒンドラ農機㈱、㈱クボタ、井関農機㈱、ヤンマーアグリジャパン㈱）に対して開発要求などを行っています。そして、開発要求のもと作られた開発機をＪＡ全青協などの農業者団体の代表者と共に協議のもと、機体を決めます。決めた機体を一括で発注することにより、購入価格の引き下げを実現し、同じクラスの農業機械と比較して、15～18％以上の引き下げを実現しました。こうした取り組みを通じて、引き続き農家、組合員の営農を支援していきます。

◇中古農機マッチングシステムRe:Boon(リブーン)

中古農機マッチングシステム（通称：「Re:Boon(リブーン)」は、インターネット環境で、中古農機を販売したい農業者や事業者（ＪＡ含む）と購入したい農業者をマッチングするシステムです。

開発に至った背景としては、近年の農業機械の高騰が続き、中古農機の需要は高まっているものの、中古農機として販売するにあたっての手続きが煩雑で時間がかかり、中古農機が品薄である現状がありました。それらを解消するため、また中古農機の流通促進を図ることを目的に、中古農機マッチングシステムRe：Boon（リブーン）を開発し、運用を始めました。